

12月臨時例会

武井義明と

ボーチェ・アンジェリ

リサイタル



武井義明

昭和9年高知市に生れ、高校卒業後上京し、中央大学経済学部を経て、津田スクール・オブ・ビジネスに学ぶかわら、ティープ釜范のジャズ学校に通い、ジャズ唱法の基礎を身につけました。

1953年疋田ブラザーズ・オーケストラの専属歌手となり、グランド・ハイツの将校クラブでうたうようになり、その才能と実力が認められ、1年後の54年にはジョージ・川口とシックス・レモン・オーケストラの専属歌手にむかえられました。同時にテレビ、ラジオにも出演してジャズ・フアンの注目を浴び、歌手としての基盤を築いてゆきました。

61年日劇ダンシング・チームと共にヨーロッパ公演に参加し、好評をもつて迎えられ、スイング・ジャーナル誌の人気投票では7年間もトップを占めています。

武井義明

ボーチェ・アンジェリカ

昭和35年5月東京放送テレビ「ペギーに逢いましよう」でデビューした6人編の女声コーラス。

デュエツトやトリオでは出来ない、5部の合唱の出来るところからダーク・ダックス、ペギー・葉山石井好子、中原美沙緒、友竹正則などのバック・コーラスとして活躍。また「ふるさとの調べ」「ロシア民謡集」など単独でLPにも吹き込んでいます。

- 原 葉子 (ソプラノ)
- 御園生和代 (ソプラノ)
- 佐藤わかな (メソソプラノ)
- 加川 忠子 (メソソプラノ)
- 北条みさ子 (アルト)
- 藤岡めぐみ (アルト)



とき…12月5日(土)PM